

省エネコンテスト

～『知っている』から『やっている』へ 省エネ本番～

実施要項

- 主 催：経済産業省・環境省・省エネ家電普及促進フォーラム
- 後 援：財団法人省エネルギーセンター 外
- 協 賛：47都道府県、17政令指定都市 外
- 応募締切：平成20年2月29日

省エネコンテスト 実施要領

1. 目的

2008年度から第一約束期間を迎える京都議定書の目標達成に向け、地球温暖化対策の一層の推進が必要不可欠です。

本年5月に日本から世界に向けて示した「美しい星50」(Cool Earth 50)においても、対策の三本柱の一つとして、「我が国の京都議定書の目標達成に向けた国民運動の展開」を掲げ、国民のライフスタイルの見直しや、家庭と職場での努力や工夫を呼びかけることとされています。

地球環境問題が主要議題となる来年7月に予定されている北海道洞爺湖サミットの開催時期にかけて、CO2削減に向けた一般家庭や学校における省エネ行動の実践を促すことを目的とする。

2. 主催

経済産業省、環境省、省エネ家電普及促進フォーラム

3. 後援

大手家電流通懇談会、高齢社会NGO連携協議会、(財)家電製品協会、(財)省エネルギーセンター、(財)日本消費者協会、(社)電子情報技術産業協会、(社)日本エルピーガス連合会、(社)日本ガス協会、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、(社)日本照明器具工業会、(社)日本自動車連盟、(社)日本電機工業会、(社)日本電球工業会、(社)日本フランチャイズチェーン協会、(社)日本冷凍空調工業会、石油連盟、全国地方新聞社連合会、全国電機商業組合連合会、電気事業連合会、日本チェーンストア協会 (順不同)

4. 協賛

47都道府県、17政令指定都市、石丸電機(株)、NECライティング(株)、イオン(株)、(株)内田洋行、(株)エイデン、(株)サンキュー、(株)島津理化、(株)タカラトミー、(株)デオデオ、(株)ビックカメラ、(株)ベスト電器、(株)ミドリ電化、(株)村田製作所、(株)ヤガミ、(株)ヤマダ電機、(株)ヨドバシカメラ、ケニス(株)、コイズミ照明(株)、三洋電機(株)、シャープ(株)、主婦連合会、上新電機(株)、全国地域婦人団体連絡協議会、宗次郎音楽事務所、東芝ライテック(株)、日本街路灯製造(株)、パルシステム生活協同組合連合会、松下電器産業(株)、三菱電機(株) (順不同)

5. 参加要件

1人1日1kgのCO₂削減「私のチャレンジ宣言」を行い、省エネの実践に取り組む世帯（グループを含む。）、及び学校（小学校・中学校・高等学校）で、平成20年1月1日～3月31日までの間に2週間以上の取組を実施する者

6. 参加方法

- ・省エネコンテストのホームページから申し込む場合
 - ①省エネコンテストトップページ（<http://www.eccj.or.jp/contest08/>）の「参加申し込み」ボタンをクリックし、「参加申し込み」のページを開く。
 - ②「参加申し込み」のページから、申し込み方法に応じて「参加申込書をダウンロードする」又は「ホームページ上で申し込む」のいずれかをクリックする。（ダウンロードした用紙で申し込む場合は⑤へ）
 - ③「申込書のフォーム」に必要事項を入力の上「確認」ボタンをクリック。
 - ④送信画面が表示されるので内容を確認の上「送信」ボタンをクリック。登録終了後、コンテスト事務局より登録内容の確認メールが送付されるので、内容を確認する。
 - ⑤ダウンロードした用紙に必要事項を記入し、省エネコンテスト事務局にFAX又は郵送にて送る。
 - ⑥以上で、登録は完了です。後日、省エネコンテスト事務局より報告書用紙、実践行動のヒントが記載されたカレンダー（先着10,000名様、学校にはエコワット）が送付されます。

 - ・省エネコンテストのチラシから申し込む場合
 - ①省エネコンテストのチラシの裏面にある申込書に必要事項を記載し、省エネコンテスト事務局にFAX又は郵送で送る。
 - ②以上で、登録は完了です。後日、省エネコンテスト事務局より報告書用紙、実践行動のヒントが記載されたカレンダー（先着10,000名様、学校にはエコワット）が送付されます。
 - ③チラシに記載されているアドレスにアクセスして申し込む場合は、上記の「省エネコンテストのホームページから申し込む場合」に同じ。
- ※ 省エネナビの設置を希望した場合（家庭部門）は、別途、省エネコンテスト事務局より設置の可能性（分電盤の位置や形状、電流容量等）について、調査があります。

7. 実施期間・登録締切・報告書提出締切

実施期間：平成20年1月1日（火）～3月31日（月）

登録締切：平成20年2月29日（金）24時（郵送の場合は当日の消印があるもの）

報告書締切：平成20年4月30日（水）24時（郵送の場合は当日の消印のあるもの）

8. 報告書の送り先・お問い合わせ先

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-19-9 シオ八丁堀 1階
財団法人省エネルギーセンター
スマートライフ推進本部内
「省エネコンテスト」事務局

TEL 03-5543-3013（受付時間：平日9:30～12:00, 13:00～17:30）

FAX 03-5543-3887

9. 審査

省エネルギー、環境の専門家等から成るワーキンググループ及び審査委員会を設け選考します。（平成20年5月～6月頃）

審査委員長 北野 大（明治大学理工学部教授）
審査委員 小峯 裕巳（千葉工業大学工学部教授、WG委員長）
宗次郎（宗次郎音楽事務所、オカリナ奏者）
根本 美緒（フリーキャスター、クールアンバサダーメンバー）
経済産業省（資源エネルギー庁）
環境省（地球環境局）
外2～3名

WG委員長 小峯 裕巳（千葉工業大学工学部教授）
WG副委員長 佐藤 一子（ソフトエネルギープロジェクト代表）
WG委員 10名程度

10. 表彰の種類

(1)内閣総理大臣賞（家庭部門、学校部門各1件）

賞状及び副賞

・経済産業大臣賞候補及び環境大臣賞候補の中から、最も優秀なもの

(2)経済産業大臣賞（家庭部門、学校部門各1件）

賞状及び副賞

・革新的・斬新的なアイデアで、エネルギー使用量の削減効果が多いに期待できるもの

(3)環境大臣賞（家庭部門、学校部門各1件）

賞状及び副賞

・革新的・斬新的なアイデアで、エネルギー使用量の削減効果、環境負荷の低減効果が多いに期待できるもの

(4)資源エネルギー庁長官賞（家庭部門、学校部門各3件）

賞状及び副賞

・革新的・斬新的なアイデアで、エネルギー使用量の削減効果が期待できるもの

※その他、ユニークなアイデアで、エネルギー使用量の削減効果や環境負荷の低減効果が期待できる取組に対しては、後援団体賞、民間企業賞等を準備。

11. 審査結果発表

内閣総理大臣賞等の受賞者へは文書による通知を行うとともに、プレスへの発表を行います。
(平成20年6月頃)

12. 表彰式

内閣総理大臣賞等の受賞者を対象に表彰式を行います。
(平成20年6月下旬頃)